

指導例の見方及び活用のポイント

本章に掲載している 13 の指導例の見方と活用のポイントについて、以下に示します。

指導例の見方

1 単元（題材）の目標等

国立教育政策研究所作成の『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【案】』（令和元年 11 月）を基に、単元（題材）の目標を記載しています。また、教科等によっては、「単元（題材）について」の項を設け、単元（題材）の概要や学習活動の流れについて補足しています。

2 単元（題材）の評価規準

単元（題材）の目標を基に、単元（題材）の評価規準を記載しています。

* 道徳科の指導例では、1 及び 2 の項目をそれぞれ「ねらいとする道徳的価値」、「教材の概要」としています。

3 環境教育で育成する主な資質・能力（ESDの視点）

7 ページで示した「環境教育で育成する資質・能力（例）」を基に、単元（題材）の評価規準や「環境教育で対象とする主な内容（例）」（9 ページ）との関連を踏まえながら、単元（題材）を通して特に育成したい資質・能力を記載しています。また、（ ）内には、関連する主な「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度（例）」を記載しています。

4 環境教育で対象とする主な内容（ESDの構成概念）

9 ページで示した「環境教育で対象とする主な内容（例）」を基に、本単元（題材）と関連する主な内容について記載しています。また、（ ）内には、関連する主な「持続可能な社会づくりの構成概念（例）」を記載しています。

5 主なSDGsとの関連

単元（題材）の学習活動を通して、達成に貢献できると考えられる持続可能な開発目標（SDGs）を記載しています。

6 学習指導計画

指導時間、主な学習活動、教員の主な支援及び主な評価の観点などを示した指導計画を記載しています。

※評価の観点は、知識・技能を【知】、思考・判断・表現を【思】、主体的に学習に取り組む態度を【態】と略して示しています。

7 本時の展開例

主な学習活動、予想される児童・生徒の反応、教員の主な支援及び主な評価の観点などを示した授業展開例を記載しています。

8 学習のつながり

「環境教育で育成する資質・能力」や「環境教育で対象とする主な内容」について、本単元（題材）と関連の深い他教科等を含めた主な単元（題材）を記載しています。

9 外部人材、地域資源等の活用

本単元（題材）を効果的に指導するため、積極的に活用したい外部人材や、地域資源等について記載しています。

10 ホームページ等の資料

本単元（題材）を効果的に指導するため、積極的に活用したいホームページや書籍等について記載しています。

なお、掲載しているURLは、令和2年1月時点で確認したものです。

活用のポイント

① カリキュラム・マネジメントの視点から

12 ページで触れているとおり、環境教育の充実を図るためには、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等と関連付けた指導を行っていくことが大切です。指導例に、「8 学習のつながり」や「9 外部人材、地域資源等の活用」の項目を設けることで、「教科等横断的な視点」から資質・能力や内容のつながりを捉えたり、「人的又は物的な体制の確保及び改善の視点」から教育活動の質の向上を図ったりすることができるようにしています。

② 本指導例から、他学年、他教科等での取組へと広げていくために

本指導資料に掲載している指導例を基盤として、他学年、他教科等での取組へと広げたりつなげたりしていくことも大切です。特に、「3 環境教育で育成する主な資質・能力」、「4 環境教育で対象とする主な内容」、「5 主なSDGsとの関連」を明確にして指導計画を作成することで、環境教育と教科等を関連付けた意図的、計画的な指導を行うことができます。